

# 第4回 青空文庫表紙コンテスト

## 作品募集

近年、著作権の切れた古い文学作品に、有名な漫画家が描いた表紙イラストを付けて販売する例が増えてきています。Web サイト「青空文庫」にはそうした著作権の切れた文学作品がたくさんアップロードされています。皆さんも、そうした古い文学作品を読んで、感じたこと、心に残ったことを、表紙イラストにして表現してみませんか？

### ◇ 募 集 要 項 ◇

#### ■募集内容

下記の「募集対象作品」に挙げた①～③の文学作品を読んで、他の人がその作品を読んでみたくなるような表紙イラストを作成してください。なお、複数の募集対象作品に応募していただいても構いません。応募した方には、50ポイントを進呈します。

#### ■募集対象作品

- ①『桜の森の満開の下』（著者：坂口安吾）
- ②『雪の夜の話』（著者：太宰治）
- ③『しっかり者のすずの兵隊』（著者：ハス・クリスティアン・アンデルセン、訳者：楠山正雄）

※募集対象作品のテキストデータは[¥showme¥附属図書館¥第4回青空文庫表紙コンテスト](#)のフォルダにあります。また、本紙裏面のQRコードから読むこともできます。

#### ■応募資格 本学学生

#### ■応募規定

- ①A4判用紙1枚（用紙の向きは縦、横を問わない）。手書き、電子データ（Windows環境で読み込める形式であれば可）どちらでも可。別添の応募用紙に必要事項を記入の上、作品と共に附属図書館に提出してください。手書きの場合は、附属図書館カウンターに提出、電子データの場合は、図書館メールアドレス（[flib@jin-ai.ac.jp](mailto:flib@jin-ai.ac.jp)）へ送信してください。
- ②作成する表紙イラストの中には、必ず「募集対象作品のタイトル（[例] 雪の夜の話）」「著者名（訳者がいる場合には訳者名も）（[例] 著：アンデルセン、訳：楠山正雄）」を入れてください。

※応募用紙（電子データ）は、[¥showme¥附属図書館¥第4回青空文庫表紙コンテスト](#)のフォルダにあります。

#### ■応募締切 平成28年11月30日(水)

#### ■賞

- |                  |                              |
|------------------|------------------------------|
| 『桜の森の満開の下』優秀賞    | 1名（副賞：リジカル文庫本、図書カード 3,000円分） |
| 『雪の夜の話』優秀賞       | 1名（副賞：リジカル文庫本、図書カード 3,000円分） |
| 『しっかり者のすずの兵隊』優秀賞 | 1名（副賞：リジカル文庫本、図書カード 3,000円分） |

※該当者なしの場合があります。

■入選等発表 平成 28 年 12 月以降予定

■審査委員

委員長	大久保 功治	(附属図書館長)
委員	前田 博子	(生活科学学科生活デザイン専攻)
	内藤 徹	(生活科学学科生活情報専攻)
	岩田 章子	(生活科学学科食物栄養専攻)
	江端 佳代・前田 敬子	(幼児教育学科)
	竹下 真弓	(附属図書館)

■著作権

応募いただいた作品の諸権利は、仁愛女子短期大学附属図書館に帰属するものとします。入賞作品及び応募いただいた作品は、図書館で所蔵の上、公開いたします。また、仁愛女子短期大学及び附属図書館のウェブサイトや本学広報誌等において公表する場合があります。

■募集対象の作品・作家について

①『桜の森の満開の下』(著：坂口安吾)

坂口安吾(1906-1955)は小説家。1946年に発表した『墮落論』や『白痴』により、一躍人気作家として注目を浴びた。『桜の森の満開の下』は、文章を梶井基次郎に学んだ安吾が、梶井の『桜の樹の下には』に触発されて書いた小説。「桜の樹の下には屍体(したい)が埋まっている!」という梶井が作り出した幻想を基に、美の魔性と冷たい虚空に彩られた独特の世界観を生み出している。

(引用・出典：青空文庫、Wikipedia 及び『日本現代文学大事典(作品篇)』(明治書院，1994))

②『雪の夜の話』(著：太宰治)

太宰治(1909-1948)は小説家。『走れメロス』や『斜陽』『人間失格』等の作品で知られる。『雪の夜の話』は、1944年に発表された短編小説。赤ちゃんを産む義姉のために、スルメを家まで持って帰ろうとしていた主人公しゅん子。しかし雪深い道の途中のどこかで落としてしまう。がっかりするしゅん子だが、美しい雪景色を見ているうちに、「この綺麗な雪景色を義姉に持って帰ろう」と思い付く。純粹で可愛らしい少女の姿を描いた作品。

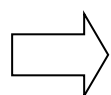
(引用・出典：青空文庫、『日本現代文学大事典(人名・事項篇)』(明治書院，1994))

③『しっかり者のすずの兵隊』(著者：ハンス・クリスティアン・アンデルセン)

アンデルセン(1805-1875)は、デンマークの代表的な童話作家、詩人。『マッチ売りの少女』や『みにくいアヒルの子』など、数多くの童話を生み出している。『しっかり者のすずの兵隊』は、1838年にコペンハーゲンで刊行された作品で、氏の創作活動期の中でも比較的初期の作品である。ある男の子の誕生日祝いに、錫(スズ)のさじから作られた25人のスズの兵隊が送られたが、最後に作られた兵隊は材料の不足により一本足であった。その一本足の兵隊の恋と冒険を描いた物語。

(引用・出典：Wikipedia)

※応募対象の作品は、  
右のQRコードから  
読むことができます。



①桜の森の満開の下



②雪の夜の話



③しっかり者のすずの兵隊

